

# つながり

大上好久

令和6年2月1日発行

Tel:29-5210 Fax:21-3456

川上小学校



## 語り合いで 活動が変わり 子供が変わる!

中央教育審議会は、「学校と地域の連携・協働の在り方」を示した答申<平成27年12月>の「おわりに」で次のように述べています。「誰かが何とかしてくれる,のではなく,自分たちが『当事者』として,自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子供たちのために学校を良くしたい,元気な地域を創りたい,そんな『志』が集まる学校,地域が創られ,そこから,子供たちが自己実現や地域貢献など,志を果たしていける未来こそ,これからの未来である。」

本号では,熟議と地域学校協働活動のそれぞれのPDCAサイクルを回しつつ,地域住民と教職員が一体となり,志を持って,子供の学びや成長を支えている川上小学校を紹介します。

※ PDCA サイクル …計画→実行→評価→改善 の繰り返し

### 語り合い(熟議)の繰り返しと カリキュラムの見直し 【川上小】

- ◎ 4月の教職員と地域住民と保護者の熟議で,「学校・地域連携カリキュラム」を見直し,中核とする地域学校協働活動を3つ決定し,共同実践した。更に,活動のたびに評価し,すぐに取り組を改善した。
- ◎ 充実した活動を展開する中で,「お世話になっている地域の方に感謝を伝える機会を持ちたい」という思いから,子どもが主役となる「川上オールスター感謝祭」12/11の実施となった。

#### P. 計画 (熟議の活用)

- ・目指す学校像の実現に向けた語り合い
  - …3つの元気がある学校 (子供, 家庭・地域, 教職員)
- ・熟議のメンバー…教職員, 学運協委員, 保護者

子供が大変喜んだので, 今年の紙芝居づくりを発展させ, 劇をしてはどうでしょう。脚本なら私が書けます。<学運協委員>

子供と地域を元気にするため米作りはどうでしょう。家の田んぼが活用できます。<学運協会長>



#### D. 目的・目標に向けた取組

『①米作り, ②鮎原劔神社の劇の披露, ③学校歌の作成』

川上の魅力を歌にして, 地域の皆さんに披露したら, 地域が元気になるのでは? <地域連携担当教員>

脚本づくり, セリフや動作も教えてもらって上手くできました。ありがとうございます。<子供>



子供がタブレットの扱いを住民に教え, 参加者全員で川上小のクイズに挑戦していました。

読み聞かせ等お世話になりました。感謝の気持ちです。ご飯は美味しいですか。<子供>

#### A. 取組の改善 (熟議の活用)

どんな学校, どんな子供を目指すかがはっきりしていました。学校・地域・保護者が, 自分は何ができるかを出し合い, 折り合いをつけながら, 実現可能な活動を展開していました。周りの大人が, 子供の成長した姿を見ながら, 喜びを分かち合っている姿が印象的でした。

#### C. 活動に対する評価 (熟議の活用)

活動に対する評価(熟議の活用)

